

A_夕暮れどき、テラスのソファでビールと葉巻を嗜むのがMさんの楽しみ。 B_敷地の奥に向かって緩やかに高くなっていて、通りから見ると、森の中に家が浮かんでいるよう。黒と緑のコントラストが美しく、ライティングが幻想的にその姿を映し出す。



陰翳礼讃の美意識を宿した住まい

静寂をまとった森に

浮遊するような

漆黒の邸宅

緑濃い別荘地。小径から木々に包まれたアプローチの先を見ると、目線の少し上に、片流れ屋根の邸宅が浮かび上がるよう

に見えてきます。

「アマン京都みたいな家にしたかったんです」——そう話すのは、この家に暮らすMさん。塗り壁とスギ板という異なる素材を黒一色に塗った外壁は、光の当たり方によって、微妙に表情を変えていきます。少しずつ高さが違う3つのウッドデッキには、緑を眺めてくつろげるソファとテーブル、そしてファイヤーピットが。まさしく、静謐な森に立つラグジュアリーホテルのような趣です。

玄関を開けると一転して、真っ白なタイル張りのエントランスホール。ガラス扉の先には、天井高7mもの圧倒的な大空間が広がっています。正面のキッチン窓からも、南側の大きな開口部からも、見えるのはまばゆい緑だけ。窓を開ければ、野鳥のさえずりが耳に心地よく、家にながらにして森林浴を楽しんでいるかのよう。夏は庇で日が遮られて涼しく、冬は日差しがたっぷり注ぐリビング。極上の癒しの空間です。

以前は東京で賃貸のタワーマンションに住んでいたMさん。老後は田舎で暮らしたいねと、生前の妻とときどき訪れていた信州を新たな人生の舞台に。妻の思いが随所に込められたこの住まいで、今、穏やかな日々を過ごしています。



C_1階の床は70cm角の大きなタイル。Mさんが東京のショールームで見つけたものだ。「ほかに、窓はYKKにしたいとか、キッチンと洗面台はIKEAの代理店に施工してもらいたいか。いろいろとお願ひしたのですが、リアライズさんは嫌な顔一つせず対応してくださり、ありがたかったです」 D_カーテンはつけずに、窓からの眺めを楽しむ。 E_薪ストーブはノルウェー・ヨツール社製。冬は床暖房も稼働させ、暖かく。 F_シンガポールに住んでいたこともあるMさん。家具やインテリアのセンスが光る。 G_リビングから続くデッキに加え、住みながら2つのデッキを増設した。



土地を購入し、ビルダーもほぼ決めていたMさんですが、「ウッドショックの始まりの頃で、見積もり額が驚くほど上がってしまった。そんなとき偶然見つけた建売住宅のデザインが気に入り、そこを手がけたリアライズさんに、家づくりを依頼することにしたのです」。

敷地に生えていた木々は極力残し、森の中に家が佇んでいるように。1階中心のシンプルな間取りに、吹き抜けと大きな窓が開放感をもたらします。屋根勾配に沿わせて見えなくした登

開放感と落ち着き、
光と陰影の美しさ。
どこにいても心地がいい

り梁で、空間はよりすっきりと。薪ストーブと階段、タイル壁の織りなす光と影が美しく、ここを取っても絵になる住まいです。

一方、ダイニングとキッチンは天井が低く、落ち着いた空間。週2日は東京の会社に通い、3日は在宅で仕事をするMさんは、ダイニングをワークスペースとして活用しています。仕事を終えたら、照明を落として好きな音楽をかけ、リビングのバタフライチェアやテラスで過ごすのがお気に入り。「東京ではどこにいても人の気配があった。今は本当に静かな場所で、気持ちよく暮らせていると感じています」。

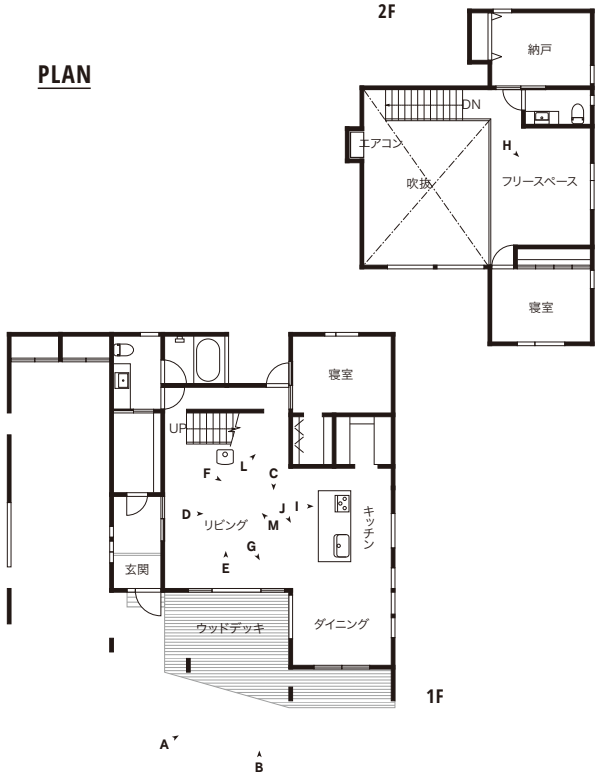
昔からここに根ざす木々は、お金では手に入らないもの。そんな贅沢な森の家での時間を、心から慈しんでいます。





L 扉の先は寝室。玄関からクローゼット、洗面室、そして階段裏を
通って寝室へと、回遊できる動線が気に入っている。 **M** 壁に映
る陰影がアートのように。壁に立て掛けた大きなミラーは、シンガポ
ールから持ってきたもの。「鏡のおかげで部屋が広く見えます」

PLAN



DATA

敷地面積 992.00㎡ (299.48坪)
延床面積 145.69㎡ (43.98坪)
1F面積 100.20㎡ (30.25坪)
2F面積 45.49㎡ (13.73坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／
柱：スギ、梁：アカマツ、土台：ヒノキ 断熱材／屋根：ウレタ
ンフォーム吹き付け160mm、壁：ウレタンフォーム吹き付け90
mm、基礎：スタイロフォーム＋ウレタンフォーム50mm 主な外
装仕上げ／屋根：ガルバリウム銅板、外壁：ベルアート塗装・
一部スギ板張り 主な内装仕上げ／天井：クロス、壁：クロ
ス・一部タイル、床：タイル・フローリング 開口部／YKK複合
ペア キッチン／IKEA キッチン熱源／IHクッキングヒータ
ー パスルーム／タカラスタンダード 暖房の種類／床暖・
薪ストーブ

Comment

Owner: Mさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A ビルダーさんとコミュニケーションを取り、イメージを伝えること。
要望をたくさん取り入れていただきました。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 妻の希望で、お風呂に窓を付けたこと。開放感があって、気持ち
のいい時間が過ごせます。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A LDKの吹き抜け空間をすっきり見せるために、登り梁を提案してく
れたこと。とても素敵で快適な家ができました。

Builder: 代表／篠原幹雄さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A 家の中にいても森を感じられるような空間。生活感が感じられな
い、別荘やホテルで暮らす雰囲気をもった家。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A ごくシンプルな間取りで広々としたLDK。森が見える大きな窓。洗
面とトイレのラグジュアリーな空間。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A 細かい打ち合わせを積み重ね、努力と時間を惜しまずに、
お客様の希望をできる限り取り入れた家を建てること。



H 階段を上った先はフリースペース。生前、妻はここから
階下を眺めるのが好きだったという。 **I** キッチンで仕
事をするMさん。顔を上げれば緑が目飛び込む。「秋は
黄色に色づき、冬はモミの木と松以外は葉が落ちて、月が
見えるんですよ」 **J** シックなダイニング。ここからもテラス
に出られる。 **K** Mさんが庭に植えた山椒の木が生長し、
葉からは鮮やかな香りが。

